

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成 24 年 7 月 26 日 (2012.7.26)

【公開番号】特開 2011-117854 (P2011-117854A)
【公開日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)
【年通号数】公開・登録公報 2011-024
【出願番号】特願 2009-276091 (P2009-276091)
【国際特許分類】

G 0 1 N 27/70 (2006.01)

G 0 1 N 30/64 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/70

G 0 1 N 30/64 F

【手続補正書】
【提出日】平成 24 年 6 月 1 日 (2012.6.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

放電により所定ガスからプラズマを生成するために、少なくとも 1 つの表面が誘電体で被覆された対をなす電極、及び該電極に低周波交流電圧を印加する電圧印加手段を含む放電生起手段と、生成されたプラズマの作用によりイオン化された気体状の試料成分に由来するイオン電流を検出する電流検出手段と、を具備する放電イオン化電流検出器において、

前記放電生起手段によるプラズマの生成領域に対し光を照射する光照射手段を備えることを特徴とする放電イオン化電流検出器。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の放電イオン化電流検出器であって、

前記電圧印加手段から前記電極に前記低周波交流電圧の印加を開始する際に又は開始してから所定時間経過した後に前記光照射手段から所定時間だけ光を照射するように該光照射手段を制御する制御手段、をさらに備えることを特徴とする放電イオン化電流検出器。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の放電イオン化電流検出器であって、

前記光照射手段として L E D を用いることを特徴とする放電イオン化電流検出器。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の放電イオン化電流検出器であって、

前記光照射手段として橙色に相当する波長以下の波長を有する L E D を用いることを特徴とする放電イオン化電流検出器。